

# 2022年4月期 2Q 決算説明会

---

株式会社 アインホールディングス  
2021年12月9日

# 決算概要

---

# 連結P/L

売上高は新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、ファーマシー事業の伸長により前期比105.2%、計画比103.4%となった。経常利益は売上高の増加に伴い前期比135.6%、計画比109.4%となった。

(単位：百万円)	21/4期2Q 実績	22/4期2Q 計画	22/4期2Q 実績	前期 増減額	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	145,352	147,900	152,972	7,620	105.2	103.4
売上総利益	21,435	23,000	22,838	1,403	106.5	99.3
売上比 (%)	14.7	15.6	14.9			
販売管理費	17,508	17,700	17,062	▲446	97.5	96.4
売上比 (%)	12.0	12.0	11.2			
営業利益	3,927	5,300	5,776	1,849	147.1	109.0
売上比 (%)	2.7	3.6	3.8			
経常利益	4,517	5,600	6,127	1,610	135.6	109.4
売上比 (%)	3.1	3.8	4.0			
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,630	2,780	3,338	708	126.9	120.1
売上比 (%)	1.8	1.9	2.2			
1株当たり 四半期純利益 (円)	74.24	78.47	94.68	20.44	127.5	120.7

▶ 単位未満切り捨て

# ファーマシー事業 連結

売上高は既存店処方箋枚数の回復と前期出店した店舗が順調に推移したことにより、前期比106.9%、計画比105.0%となった。セグメント利益は売上高の増加に伴い前期比125.3%、計画比112.8%となった。

(単位：百万円)	21/4期2Q 実績	22/4期2Q 計画	22/4期2Q 実績	前期 増減額	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	128,029	130,400	136,905	8,876	106.9	105.0
売上総利益	15,008	16,300	17,115	2,107	114.0	105.0
売上比 (%)	11.7	12.5	12.5			
販売管理費	7,109	7,200	6,902	▲207	97.1	95.9
売上比 (%)	5.6	5.5	5.0			
営業利益	7,898	9,100	10,212	2,314	129.3	112.2
売上比 (%)	6.2	7.0	7.5			
セグメント利益	8,370	9,300	10,491	2,121	125.3	112.8
売上比 (%)	6.5	7.1	7.7			
店舗数	1,070	1,090	1,091	21	102.0	100.1

▶ 単位未満切り捨て

# リテール事業 連結

売上高は新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛、営業時間短縮等の影響を受けたものの、既存店の回復及び前期出店寄与により前期比104.6%、計画比92.3%となった。セグメント利益は計画を195百万円下回る▲1,125百万円となった。

(単位：百万円)	21/4期2Q 実績	22/4期2Q 計画	22/4期2Q 実績	前期 増減額	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	9,388	10,630	9,816	428	104.6	92.3
売上総利益	3,469	3,890	3,321	▲148	95.7	85.4
売上比 (%)	37.0	36.6	33.8			
販売管理費	4,596	4,840	4,475	▲121	97.4	92.5
売上比 (%)	49.0	45.5	45.6			
営業利益	▲1,127	▲950	▲1,153	▲26	-	-
売上比 (%)	-	-	-			
セグメント利益	▲1,014	▲930	▲1,125	▲111	-	-
売上比 (%)	-	-	-			
店舗数	63	72	72	9	114.3	100.0

▶ 単位未満切り捨て

# 連結B/S

ネットキャッシュは48,704百万円、自己資本比率は55.0%と、コロナ禍においても健全な財務体質を維持している。

(単位：百万円)

21/4期末			
資産の部		負債・純資産の部	
流動資産	96,398	流動負債	74,160
現預金	55,271	短期借入金	3,670
		リース債務	94
固定資産	107,264	固定負債	13,664
のれん	39,057	長期借入金	8,297
		リース債務	37
繰延資産	-	純資産計	115,837
資産合計	203,662	負債・純資産合計	203,662
ネットキャッシュ			43,171
自己資本比率 (%)			56.8

(単位：百万円)

22/4期2Q末			
資産の部		負債・純資産の部	
流動資産	98,561	流動負債	81,959
現預金	58,692	短期借入金	3,051
		リース債務	57
固定資産	111,881	固定負債	12,672
のれん	39,133	長期借入金	6,860
		リース債務	17
繰延資産	-	純資産計	115,810
資産合計	210,442	負債・純資産合計	210,442
ネットキャッシュ			48,704
自己資本比率 (%)			55.0

▶ 単位未満切り捨て

▶ ネットキャッシュ = 現預金 - 有利子負債 (短期・長期借入金 + リース債務)

# 資産の部

現金及び預金が増加したことにより、総資産は21/4期末より6,780百万円増加した。

(単位：百万円)	21/4期2Q末	21/4期末	22/4期2Q末	増減額
現金及び預金	54,616	55,271	58,692	3,421
受取手形及び売掛金	11,953	13,475	9,928	▲3,547
棚卸資産	14,796	14,285	16,312	2,027
<b>流動資産合計</b>	<b>94,006</b>	<b>96,398</b>	<b>98,561</b>	<b>2,163</b>
建物及び構築物	16,225	16,270	17,034	764
土地	10,409	10,390	10,030	▲360
リース資産	166	100	58	▲42
<b>有形固定資産合計</b>	<b>30,169</b>	<b>30,229</b>	<b>31,266</b>	<b>1,037</b>
のれん	40,563	39,057	39,133	76
リース資産	3	1	0	▲1
<b>無形固定資産合計</b>	<b>43,715</b>	<b>42,666</b>	<b>43,180</b>	<b>514</b>
投資有価証券	2,335	2,697	2,429	▲268
繰延税金資産	4,315	4,415	4,629	214
敷金及び保証金	19,493	20,319	22,951	2,632
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>31,629</b>	<b>34,368</b>	<b>37,434</b>	<b>3,066</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>105,514</b>	<b>107,264</b>	<b>111,881</b>	<b>4,617</b>
繰延資産計	-	-	-	-
<b>資産合計</b>	<b>199,521</b>	<b>203,662</b>	<b>210,442</b>	<b>6,780</b>

▶ 単位未満切り捨て ▶ 投資総額（有形及び無形固定資産＋敷金・保証金）は6,630百万円 ▶ 増減額：21/4期末・22/4期2Q末比較

# 負債・純資産の部

買掛金は、新規出店及びM&Aによる仕入れの増加により4,707百万円増加している。借入金の返済により、短期及び長期の借入金は2,056百万円減少している。

(単位：百万円)	21/4期2Q末	21/4期末	22/4期2Q末	増減額
買掛金	45,619	46,758	51,465	4,707
短期借入金	4,694	3,670	3,051	▲619
リース債務	137	94	57	▲37
<b>流動負債合計</b>	<b>73,275</b>	<b>74,160</b>	<b>81,959</b>	<b>7,799</b>
長期借入金	9,165	8,297	6,860	▲1,437
リース債務	82	37	17	▲20
<b>固定負債合計</b>	<b>14,526</b>	<b>13,664</b>	<b>12,672</b>	<b>▲992</b>
<b>負債合計</b>	<b>87,802</b>	<b>87,825</b>	<b>94,632</b>	<b>6,807</b>
資本金	21,894	21,894	21,894	-
資本剰余金	20,500	20,500	20,500	-
利益剰余金	69,439	73,506	74,907	1,401
<b>株主資本合計</b>	<b>111,832</b>	<b>115,899</b>	<b>115,899</b>	<b>-</b>
<b>純資産合計</b>	<b>111,719</b>	<b>115,837</b>	<b>115,810</b>	<b>▲27</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>199,521</b>	<b>203,662</b>	<b>210,442</b>	<b>6,780</b>

▶ 単位未満切り捨て

▶ 増減額：21/4期末・22/4期2Q末比較



# 連結CF

大型店を中心とした新規出店を推進し、営業キャッシュフローが17,314百万円となったことにより、現金及び現金同等物四半期末残高は前期より4,116百万円増加と潤沢なキャッシュを備えている。

(単位：百万円)	21/4期2Q	22/4期2Q	増減額
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>6,441</b>	<b>17,314</b>	<b>10,873</b>
税金等調整前四半期純利益	4,524	6,064	1,540
減価償却費	2,024	2,117	93
のれん償却額	2,225	2,055	▲170
売上債権増減額 (▲は増加)	1,818	4,245	2,427
棚卸資産増減額 (▲は増加)	567	▲1,707	▲2,274
未収入金増減額 (▲は増加)	▲992	▲1,316	▲324
仕入債務増減額 (▲は減少)	▲1,668	3,983	5,651
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b>▲3,759</b>	<b>▲8,261</b>	<b>▲4,502</b>
有形・無形固定資産取得による支出	▲2,974	▲3,590	▲616
子会社株式取得による支出	▲257	▲2,223	▲1,966
<b>財務キャッシュフロー</b>	<b>5,702</b>	<b>▲5,630</b>	<b>▲11,332</b>
現金及び現金同等物増減額	8,385	3,422	▲4,963
<b>現金及び現金同等物四半期末残高</b>	<b>54,316</b>	<b>58,432</b>	<b>4,116</b>

▶ 単位未満切り捨て

# 事業価値分析

	21/4期2Q	21/4期	22/4期2Q	増減
自己資本比率 (%)	56.0	56.8	55.0	▲1.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	129.6	105.6	112.3	▲17.3
株価収益率 (倍) PER	49.17	32.11	35.43	▲13.74
1株当たり当期純利益 (円) EPS	74.24	189.04	94.68	20.44
株価純資産倍率 (倍) PBR	2.31	1.86	2.05	▲0.26
1株当たり純資産 (円) BPS	3,151.54	3,267.49	3,285.58	134.04
総資産利益率 (%) ROA	1.3	3.4	1.6	0.3
株主資本利益率 (%) ROE	2.4	5.9	2.9	0.5
EBITDA (百万円)	8,176	19,612	9,949	1,773
EV/EBITDA倍率 (倍)	26.74	8.80	18.94	▲7.80
ネットD/Eレシオ (倍)	▲0.36	▲0.37	▲0.42	▲0.06
ネットキャッシュ (百万円)	40,537	43,171	48,704	8,167
株主価値 (百万円)	259,191	215,710	237,005	▲22,186
時価総額 (百万円)	258,619	215,043	236,375	▲22,244

▶ 単位未満切り捨て ▶ 増減：21/4期2Q・22/4期2Q比較

▶ ネットD/Eレシオ = (有利子負債 - 現金及び預金) / 株主資本

▶ 株主価値 = EV (時価総額 + 有利子負債 - 余剰現金) - ネット有利子負債

▶ 時価総額：自己株式を除く

▶ 時価総額算出株価：21/4期2Q末7,300円 (20/10月末) 21/4期末6,070円 (21/4月末) 22/4期2Q末6,710円 (21/10月末)

▶ ネットキャッシュ = 現金及び預金 - 有利子負債 (短期・長期借入金 + リース債務)

## 22/4期計画 連結

22/4期は売上高は前期比106.0%の315,000百万円、経常利益は前期比122.5%の15,500百万円を見込む。

(単位：百万円)	20/4期 実績	21/4期 実績	22/4期 計画	前期 増減額	前期比 (%)
売上高	292,615	297,305	315,000	17,695	106.0
売上総利益	46,861	46,155	51,600	5,445	111.8
売上比 (%)	16.0	15.5	16.4		
販売管理費	30,793	35,222	36,600	1,378	103.9
売上比 (%)	10.5	11.8	11.6		
営業利益	16,068	10,932	15,000	4,068	137.2
売上比 (%)	5.5	3.7	4.8		
経常利益	16,822	12,649	15,500	2,851	122.5
売上比 (%)	5.7	4.3	4.9		
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,179	6,697	8,300	1,603	123.9
売上比 (%)	3.1	2.3	2.6		
1株当たり 当期純利益 (円)	259.11	189.04	234.28	45.24	123.9
年間配当金 (円)	55.00	55.00	55.00	0.00	100.0

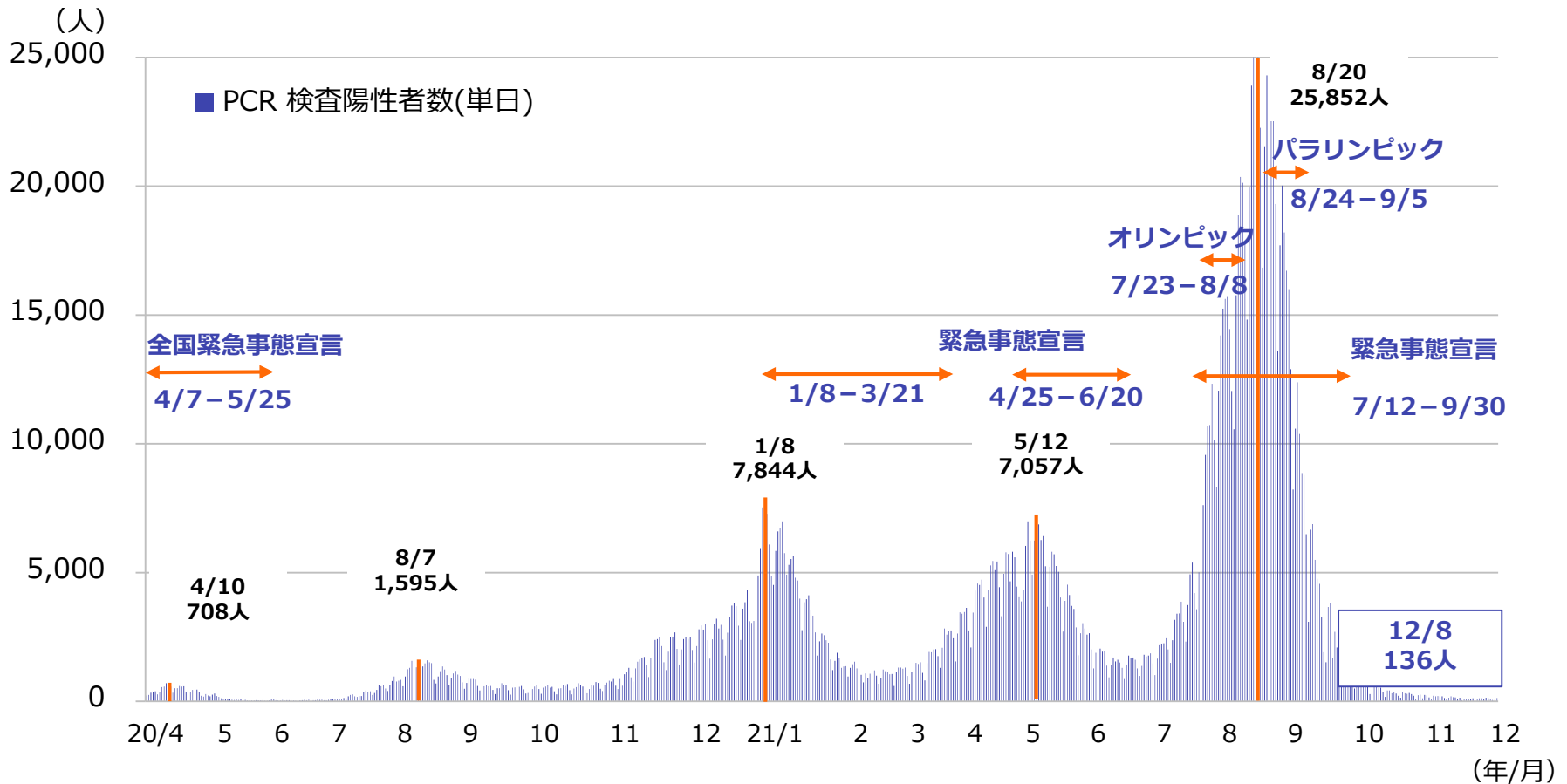
▶ 単位未満切り捨て

# Review

---

# 国内新規感染者数

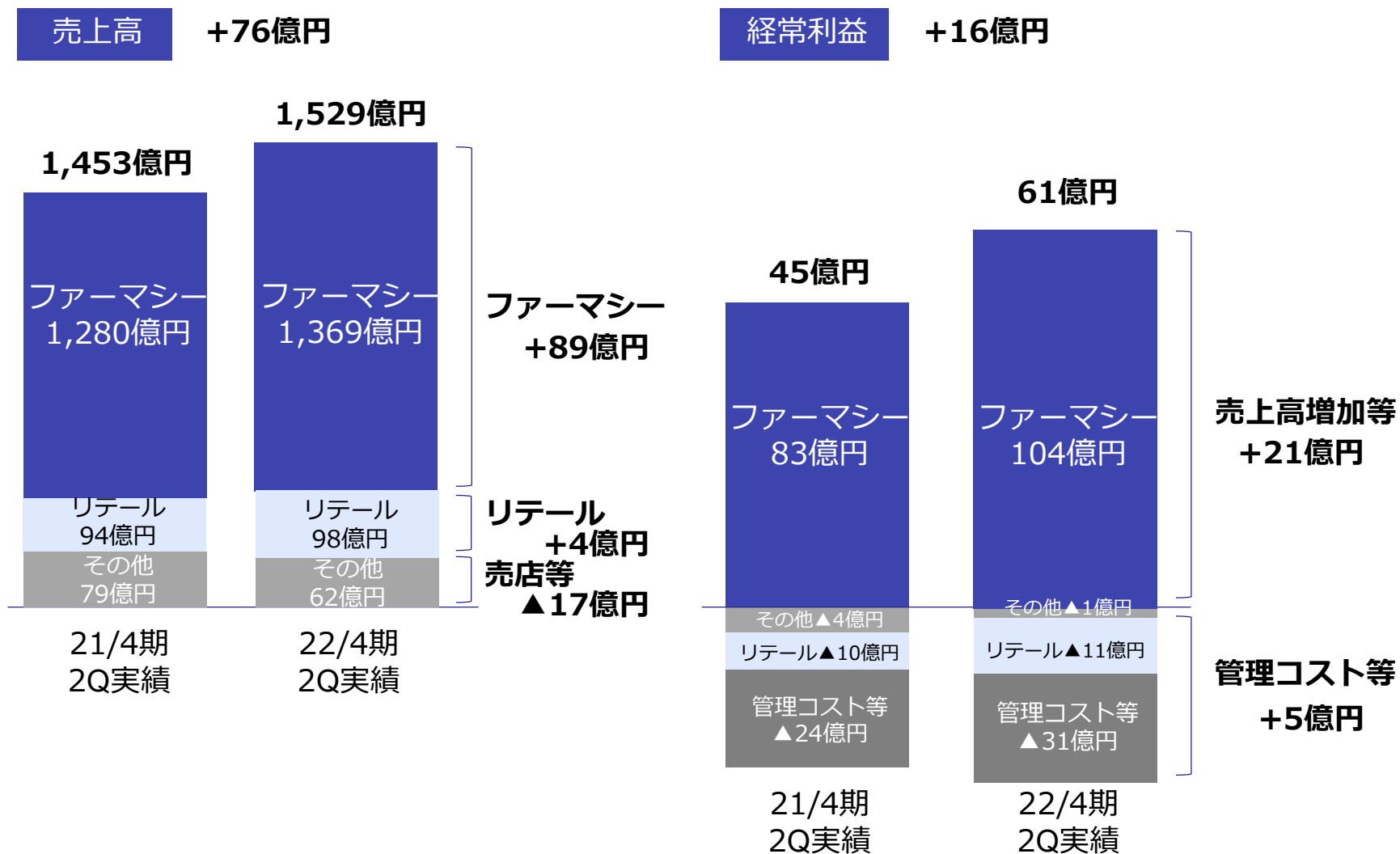
12月8日現在、国内での新型コロナウイルス感染者数は1,727,904例、死亡者数は18,369人となった。



- ▶ 厚生労働省新型コロナウイルス感染症についてのオープンデータより
- ▶ 21年12月8日はNHK新型コロナウイルス感染症速報値より
- ▶ 緊急事態宣言の期間は、最長期間の地域より抜粋

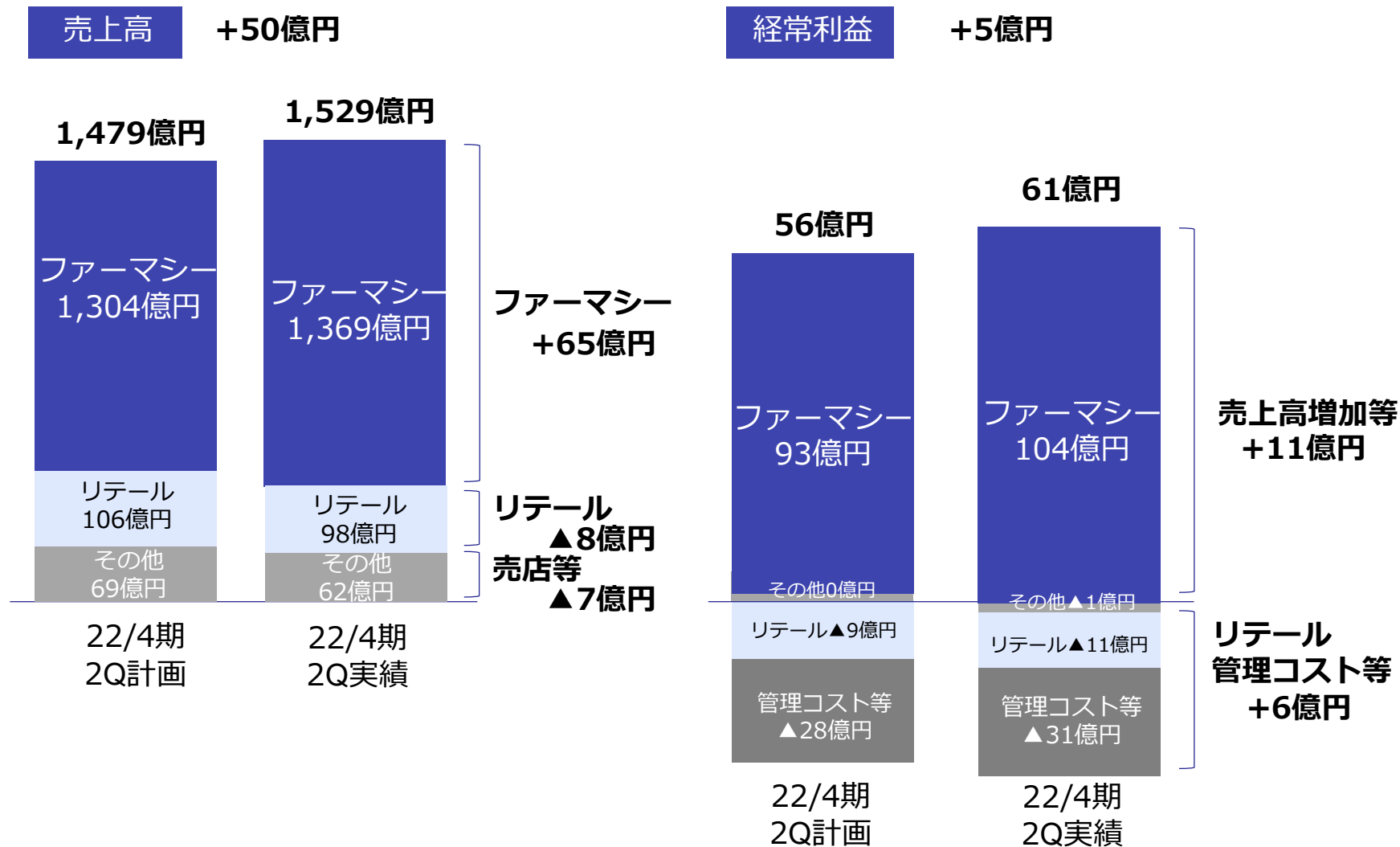
# 連結 対前期比較

ファーマシー事業の売上高の伸長により、経常利益は+16億円の増益となった。



# 連結 対計画比較

ファーマシー事業の伸長により売上高は計画を達成し、経常利益は+5億円となった。



# Strategy

---



# Strategy

## トップライン拡大

- ファーマシー事業 **80店舗**出店（オーガニック40店舗 M&A40店舗）
- リテール事業 **15店舗**出店

## 人材採用 育成

- 新卒薬剤師600人を採用（21/4月 実績613人）
- 調剤店舗のマネジメント専属社員100人の配置
- 人材育成

## 経営基盤の強化

- ICT及び物流部門における専門人材の確保
- サステナビリティ経営の推進
- 公式アプリ及びECサイト拡充による顧客サービスの向上

## アインズ&トルペの拡大と業績回復

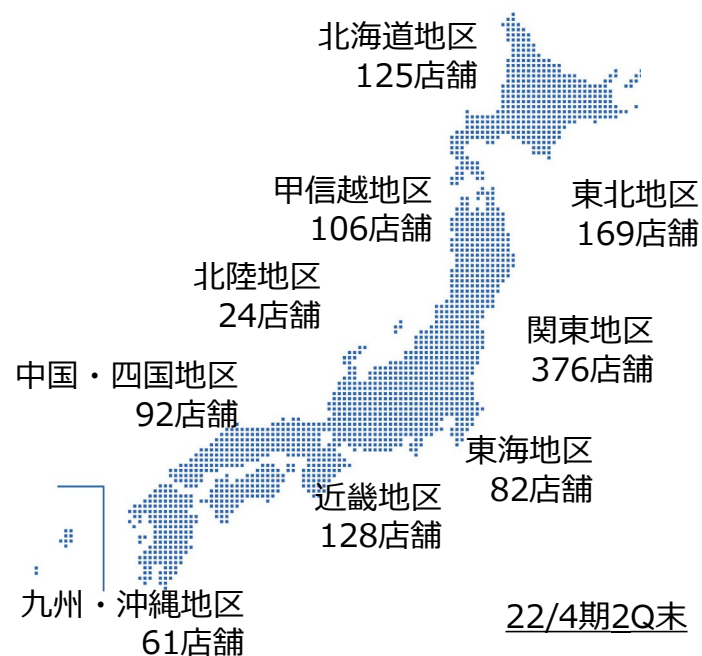
- 準都市型店舗の出店とコスト適正化

# トップライン

22/4期2QはM&Aを含め37店舗を出店し8店舗を閉店したことにより、総店舗数は1,163店舗となった。

## ■ 実績及び計画

		22/4期2Q		22/4期
		計画	実績	計画
出店	ファーマシー	30	33	80
	うちオーガニック	13	12	40
	M&A	17	21	40
	リテール	4	4	15
合計		<b>34</b>	<b>37</b>	<b>95</b>
閉店	ファーマシー	5	7	5
	リテール	1	1	2
合計		<b>6</b>	<b>8</b>	<b>7</b>
ファーマシー		1,090	1,091	1,140
リテール		72	72	82
総店舗数		<b>1,162</b>	<b>1,163</b>	<b>1,222</b>



## ■ ファーマシー出退店推移

	13/4期	14/4期	15/4期	16/4期	17/4期	18/4期	19/4期	20/4期	21/4期	22/4期2Q
オーガニック	38	36	40	32	27	25	23	14	15	12
M&A	38	26	119	110	182	11	134	6	14	21
EV/EBITDA倍率	5.09	3.94	4.77	5.37	5.50	3.96	4.88	3.71	3.74	4.26
閉店	10	6	21	15	24	73	54	64	52	7
うち譲渡	-	1	1	1	2	<b>32</b>	<b>30</b>	<b>42</b>	<b>34</b>	3
店舗数	560	616	754	881	1,066	1,029	1,132	1,088	1,065	1,091

▶ EV/EBITDA倍率=EV (M&A : 買収価格) / EBITDA (営業利益+減価償却費)

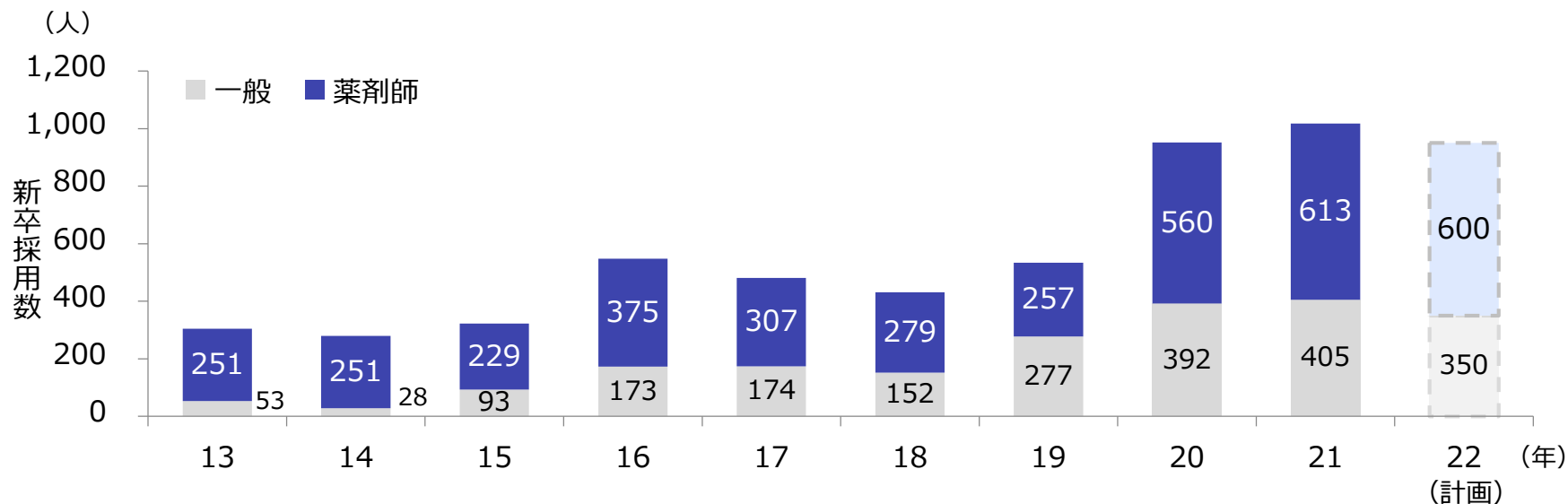
# 人材採用

21/4月613人の新卒薬剤師が入社。22/4月も600人の採用を計画。

## ■ 新卒採用数と当社入社率推移

	(年)									
(単位：人)	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
当社新卒薬剤師数	251	251	229	375	307	279	257	560	613	600
国家試験合格者 (合格率)	8,929 (79.1%)	7,312 (60.8%)	9,044 (63.2%)	11,488 (76.9%)	9,479 (71.6%)	9,584 (70.6%)	10,194 (70.9%)	9,958 (69.6%)	9,634 (68.7%)	(計画) -
当社入社率 (薬局就職者に占める割合)	2.8% (7.0%)	3.4% (8.0%)	2.5% (8.0%)	3.3% (11.7%)	3.2% (10.0%)	2.9% (8.0%)	2.5% (5.8%)	5.6% (11.6%)	6.4% (12.3%)	-

▶ 当社実績、厚生労働省データ及び薬学教育協議会資料より当社推計

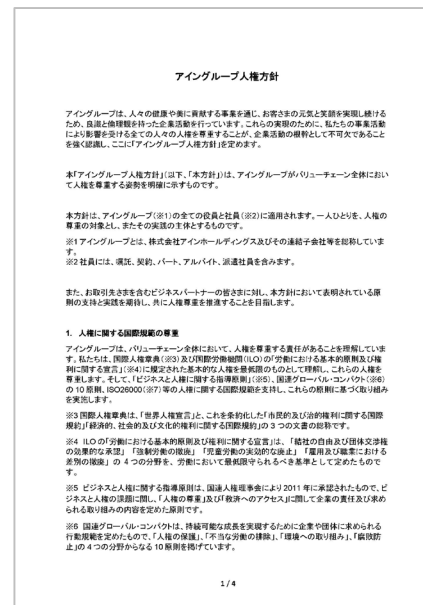


# サステナビリティ経営の推進

20/12月に、当社グループが取り組むべき重要課題（マテリアリティ）を特定し公表。21/12月には、取り組みのひとつである人権尊重推進において、「アイングループ人権方針」を制定した。

マテリアリティ	関連するSDGs
<b>1.地域医療への貢献</b> 「地域全体で治し、支える」医療に貢献する薬局となる	
<b>2.美しさと健やかさの提供</b> 現代社会において、毎日を楽しむための美しさと健やかさを提供する	
<b>3.安全・安心と信頼</b> 日々の業務を通じて、安全・安心と信頼を届ける	前文の中の 「すべての人々の人権の実現」 
<b>4.環境保護・負荷低減</b> 環境保護及び負荷低減へ貢献する	
<b>5.健全な経営基盤</b> 健全な経営基盤を強化する	前文の中の 「すべての人々の人権の実現」 
<b>6.地域社会・取引先との連携</b> 地域コミュニティ及びサプライチェーンとともに、健康な社会づくりとサステナビリティ活動を推進する	

## ■ マテリアリティ:5.健全な経営基盤 2021年12月1日、取締役会決議にて「アイングループ人権方針」制定&開示

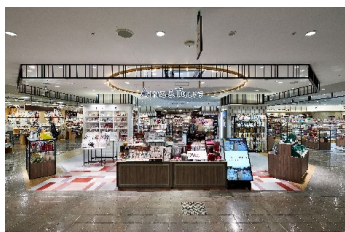


# アインズ&トルペの拡大

22/4期出店予定

# 15

店舗



福岡三越ラシック店 (福岡)  
(21/10月オープン)



セブンパーク天美店 (大阪)  
(21/11月オープン)



グランデュオ立川店 (東京)  
(21/9月オープン)



福岡



みなとみらい東急スクエア店 (神奈川)  
(21/11月オープン)



鹿児島



アミュプラザ鹿児島店 (鹿児島)  
(21/10月オープン)

大船店 (神奈川)  
(21/7月オープン)



## 22/4期計画 連結

22/4期はファーマシー事業80店舗、リテール事業15店舗の新規出店により、売上高は前期比106.0%、経常利益は前期比122.5%を見込む。

(単位：百万円)	20/4期 実績	21/4期 実績	22/4期 計画	前期 増減額	前期比 (%)
売上高	292,615	297,305	315,000	17,695	106.0
売上総利益	46,861	46,155	51,600	5,445	111.8
売上比 (%)	16.0	15.5	16.4		
販売管理費	30,793	35,222	36,600	1,378	103.9
売上比 (%)	10.5	11.8	11.6		
営業利益	16,068	10,932	15,000	4,068	137.2
売上比 (%)	5.5	3.7	4.8		
経常利益	16,822	12,649	15,500	2,851	122.5
売上比 (%)	5.7	4.3	4.9		
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,179	6,697	8,300	1,603	123.9
売上比 (%)	3.1	2.3	2.6		
1株当たり 当期純利益 (円)	259.11	189.04	234.28	45.24	123.9
年間配当金 (円)	55.00	55.00	55.00	0.00	100.0

▶ 単位未満切り捨て

**本件に係る照会先**

**株式会社アインホールディングス  
経営企画室**

**TEL011-814-0010**

**FAX011-814-5550**

**<https://www.ainj.co.jp/>**

事前に株式会社アインホールディングスの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。